

サンゴ礁生態系保全行動計画2016-2020 取組状況報告様式

資料 1 - 3 - 5

機関名：高知県

No.	具体的取組	実施状況・今後の課題
重点課題1 「陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進」における取組		
1	<p>【土佐清水市竜串】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備・間伐（林野庁四万十森林管理署、高知県森づくり推進課、土佐清水市農林水産課） ・土砂浚渫（高知県幡多土木事務所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・竜串地域上流域で災害に強い森づくりを進めるため、それぞれの団体が森林整備や間伐作業を行う。 ・河川からの土砂流出防止のための土砂の浚渫工事を実施する。
重点課題2 「サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進」における取組		
1		
重点課題3 「地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築」における取組		
1	オニヒトデの駆除	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県西南部海域では、2004年頃より局所的にオニヒトデが発生し、その後、高知県内のほぼ全域にオニヒトデ生息域が拡大していった。オニヒトデ駆除対策を実施できていない箇所では、サンゴが消失してしまっている。現在、サンゴが保全できているエリアは限られており、今後それらのエリアにオニヒトデが集中しつつあることが予想されることから、そうした海域において、環境省のMW事業や、水産庁の水産多面的機能発揮対策事業によるオニヒトデの駆除が実施されている。現在でも、大月町、宿毛市、土佐清水市など県西南部を中心に発生が継続しており、オニヒトデの駆除活動が地域団体等により実施されている。
その他（※3重点課題に該当しないがサンゴ礁保全行動計画2016-2020の趣旨を踏まえ、サンゴ礁生態系保全に対応する取組を予定している場合又は行った場合に記載する。）		
1	高知県沿岸においてサンゴの分布状況、再生能力を調査(R1~3)	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸海域の保全活動や資源活用の取り組み、生物多様性の保全のための基礎調査 ・保全を行う人材が不足する中、地元関係者からの情報収集や市民参加型でモニタリング調査や勉強会等を行うことで、地域住民への普及啓発の一環とするとともに、各地域の団体のネットワークを作り、今後のモニタリングや保全体制の強化を目指している。令和元年度は県東部地域において調査及び普及事業を実施した。